

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 351 号	氏名	赤星 浩
学位審査委員	主査	大園 恵幸	
	副査	兼松 隆之	
	副査	田口 尚	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、HBsAg 陰性かつ HCV 抗体陰性の肝細胞癌 (HCC-nonBC) と C 型および B 型肝炎ウイルスが原因の肝細胞癌 (HCC-virus) の予後因子の相違を明らかにしようとしたもので目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 肝細胞癌患者 624 人に対し、予後因子 (body mass index, アルコール摂取量、TNM 分類、AFP 値、Child-Pugh score および画像検査による follow-up の有無) についての多変量解析や TNM stage I、II での HCC-nonBC と HCC-virus のマンローホイトニー検定および Kaplan-Meier 法による生存率比較などの統計学的検討を行っており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、HCC-nonBC 群では HCC-virus 群に比し、画像による follow-up の頻度が有意に低く、病気の進行した HCC の割合が有意に高いことが示された。さらに TNM stage I、II 群では、HCC-nonBC 群で予後は良好であることから、HCC-nonBC 群の予後改善のためには、follow up のためのサーベイランスの確立が重要であることが示唆され、今後の肝細胞癌研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、肝臓病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			